

## 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（山口県立大学）

### 社会福祉学部 社会福祉学科

2020年度：合計126単位（全学教育25単位）（他学部等共通2単位）

科目名	単位数	授業内容
キャンパスライフ入門	2	学習面・生活面に係る課題に対するグループワーク等を通じて、自律した生活者としてのスキルを身に付けるための授業を展開する。 ・保護観察所に勤務する講師を招聘し、カルトのリスクについて学ぶ。 ・警察署に勤務する講師を招聘し、様々な危険から身を守るための方略を学ぶ。 ・消費生活センターに勤務する講師を招聘し、消費者トラブルについて学ぶ。
宗教学	2	住職経験のある教員が、宗教学の知見を踏まえ、宗教に関する基本的な知識を講義し、各自が属する社会の宗教文化や異文化の宗教の理解を促す授業を行う。
生命と倫理	2	・救急救命医経験のある教員が、救急医療・再生医療・臓器移植について講義を行う。 ・助産師経験のある教員が、出生前診断・周産期医療現場について講義を行う。 ・外科医経験のある教員が、最新医療技術について講義を行う。
音楽	1	TV番組や映画などで劇伴音楽を手がける作曲家で、自治体の芸術顧問を務めた経験のある教員が、創作を中心とする授業を行う。
美術	1	グラフィックデザイナーとして印刷会社に勤務経験のある教員が、作品制作の指導を行う。
茶道	1	表千家同門会の学校茶道指導者である講師が、茶道の基本的な作法を修得することを目標とする授業を行う。
華道	1	華道専正池坊教授及びロイヤルフラワーアレンジメント教授の資格を持つ講師が、生花、自然花、自由花の実技とともにニーズにあったフラワーアレンジメントも取り入れる等華道の様々な技法の修得を目標とする授業を行う。
陶芸	1	日本伝統工芸展に複数回入選歴のある萩焼作家である教員が、作陶の指導を行う。
やまぐちの歴史と文化	2	・市文化財保護課に勤務する講師を招聘し、地域の歴史と考古学について講義する。 ・県立美術館に勤務する講師を招聘し、山口で活動した芸術家である雪舟と雲谷派について、美術史的価値の観点から講義する。 ・中原中也記念館館長を招聘し、山口市出身の詩人である中原中也の活動について講義する。
社会生活論	2	消費生活センターに勤務経験のある教員が、今日の社会生活と消費生活を取り巻く諸問題について講義を行う。
地域共生演習	2	学外で地域の人々とともに地域課題の解決に向け、様々な地域活動を行うことにより、地域で働く意味や将来の職業選択に生かせる実践的な授業を行う。
地域学	2	交通不便地域におけるコミュニティタクシー乗車と乗客に対する聞き取り調査から、地域課題の解決や地域活性化に向けて主体的に取り組もうとする意欲を育てる授業を行う。
ボランティア	2	ボランティア活動を通し、ボランティア体験で得た学びをもとに地域社会に貢献する意欲と態度を身につける授業を行う。
キャリアデザイン	2	卒業後の社会的・職業的自立に向けてキャリアデザインの重要性を理解し、自分の職業・生きがいといった将来設計について考える授業を行う。
インターンシップ	2	主に県内の事業所においてインターンシップを行い、地域で働く意味を知るとともに、自分の専攻分野や将来の職業選択に生かせる実践的な就業体験を行う。
医学一般	2	医師として実務経験を有する教員が、臨床現場でのニーズを踏まえて講義を行う。
精神医学Ⅰ	2	実務経験を有する精神科医が、実践事例を取り入れながら講義を行う。
精神医学Ⅱ	2	実務経験を有する精神科医が、実践事例を取り入れながら講義を行う。
精神保健学Ⅰ	2	実務経験を有する精神科医が、実践事例を取り入れながら講義を行う。
精神保健学Ⅱ	2	実務経験を有する精神科医が、実践事例を取り入れながら講義を行う。
臨床心理学Ⅰ	2	臨床心理士として、現在もカウンセリングに携わる教員が、主として青年期の危機的状況や問題行動(自傷行為・摂食障害・自殺・ひきこもり等)について、その理解と援助という視点から講義を行う。

科目名	単位数	授業内容
臨床心理学Ⅱ	2	臨床心理士として、現在もカウンセリングに携わる教員が、各種の心理療法論を論じるとともに、福祉職にも必要なカウンセリングマインドや傾聴のスキルについてロールプレイの実践学習を取り入れながら講義を行う。
ソーシャルワーク論Ⅱ	2	NPO法人に勤務し、コミュニティソーシャルワーク実践研修を企画・担当した実務経験を持つ教員が、コミュニティソーシャルワーク実践について講義を行う。
福祉行財政論	2	自治体での在職中に福祉事務所に在籍し、障害者計画、地域福祉計画の策定に携わるとともに、管理職として福祉財政における予算作成経験のある教員が、自らの経験に基づき授業を展開する。
ソーシャルワーク論Ⅳ	2	自治体での在職中に福祉事務所に在籍し、生活保護ケースワーカー、専任面接相談員としてのソーシャルワーカーの経験、査察指導員としてのスーパーバイザー経験を持つ教員が、自らの経験に基づき授業を展開する。
ソーシャルワーク論Ⅴ	2	行政職員として福祉事務所、精神衛生センター、各種福祉施設等においてソーシャルワーカーとしての実務経験を持つ教員が、自ら実践した内容を踏まえてソーシャルワークの講義を行います。
ソーシャルワーク論Ⅵ	2	第2回から第13回の授業において、高齢・児童・障害及び医療分野のソーシャルワーカーが、実務経験をもとにソーシャルワークの展開過程について講義を行う。
精神科ソーシャルワーク論Ⅰ	2	精神科医療機関の実践現場における実務経験を有する教員が、自らの経験に基づき講義を行う。
精神科ソーシャルワーク論Ⅱ	2	精神科医療機関の実践現場における実務経験を有する教員が、自らの経験に基づき講義を行う。
精神科ソーシャルワーク論Ⅲ	2	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が、現場実践に基づいた講義を行う。
精神科ソーシャルワーク論Ⅳ	2	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が、現場実践に基づいた講義を行う。
介護福祉論	2	特別養護老人ホーム及び心身障害者訓練施設での実務経験を持つ教員が、介護保険施設等の実践現場で必要となる介護の基本的考え方や要介護者の理解・支援に関する知識と技術を教授し、ソーシャルワーカーとしての基本となる資質を身につけられるよう講義を行う。
公的扶助論	2	自治体での在職中に福祉事務所に在籍し、生活保護ケースワーカー、専任面接相談員、査察指導員の経験を有する教員が、自らの経験に基づき授業を展開する。
社会福祉運営管理論	2	社会福祉法人における障害福祉サービス事業の責任者として運営管理の実務経験を持つ教員が、福祉サービス事業の運営管理に関する授業を行う。
就労支援論	2	障害福祉領域の実践現場における実務経験を有する教員が、就労支援施策とその実際について講義を行う。
国際福祉論	2	オーストラリアの官庁において障害福祉サービス提供の実務経験を持つ教員が、日本国外の福祉の制度、歴史、特徴などをテーマとして、受講者との質疑応答を交えた授業を行う。
地域福祉論Ⅰ	2	行政職員として福祉事務所、精神衛生センター、各種福祉施設等においてソーシャルワーカーとしての実務経験を持つ教員が、自ら実践した内容を踏まえて地域福祉の講義を行う。
地域福祉論Ⅱ	2	行政職員として福祉事務所、精神衛生センター、各種福祉施設等においてソーシャルワーカーとしての実務経験を持つ教員が、自ら実践した内容を踏まえて地域福祉の講義を行う。
家族福祉論	2	社会福祉領域の実践現場における実践経験を有する教員が、実務経験を踏まえ、講義内容に関連した福祉現場における実践例や課題、エピソード等を交えながら講義を行う。
児童福祉論	2	社会福祉領域の実践現場における実践経験を有する教員が、実務経験を踏まえ、講義内容に関連した福祉現場における実践例や課題、エピソード等を交えながら講義を行う。
高齢者福祉論	2	特別養護老人ホーム及び心身障害者訓練施設での実務経験を持つ教員が、介護保険施設等の実践現場で必要となる高齢者福祉の基本的考え方や介護保険制度を中心とした高齢者関係の制度に関する知識を教授し、ソーシャルワーカーとして主体的に今後の高齢社会のあり方を自分で考えることのできる能力を身につけられるよう講義を行う。

科目名	単位数	授業内容
障害者福祉論	2	障害福祉領域の実践現場における実務経験を有する教員が、障害福祉領域における歴史の変遷、障害福祉施策やその実際について講義を行う。
司法福祉論	2	日本及びオーストラリアにおいて障害のある犯罪行為者への社会内における対応の実務経験を持つ教員が、司法手続の対象となったクライアントとのソーシャルワークについての授業を行う。
医療福祉論Ⅰ	2	医療機関の実践現場における実践経験を有する教員が、自らの経験に基づき講義を行う。
医療福祉論Ⅱ	2	医療機関の実践現場における実践経験を有する教員が、自らの経験に基づき講義を行う。
精神保健福祉論Ⅰ	1	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が担当し、現場実践に基づいた講義を行う。
精神保健福祉論Ⅱ	1	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が担当し、現場実践に基づいた講義を行う。
精神保健福祉論Ⅲ	2	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が担当し、現場実践に基づいた講義を行う。
ソーシャルワーク演習Ⅰ	4	社会福祉領域の実践現場における実践経験を有する教員が講義を担当。加えて、講義では、社会福祉士として現場で実践をしている講師を招聘し、実践現場における社会福祉士の役割やソーシャルワーク実践について講義を行う。
ソーシャルワーク演習Ⅱ	4	社会福祉領域の実践現場での実践経験を有する教員が、自らの経験に基づき授業を行う。
ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	社会福祉領域の実践現場における実践経験を有する教員が授業を担当。加えて、現場で活躍する社会福祉士を講師として適宜招聘する。現場における社会福祉士の役割やソーシャルワーク実践についての演習やグループディスカッション等により授業を行う。
ソーシャルワーク演習Ⅳ	2	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が担当。加えて、実践現場の精神保健福祉士、精神障害のある当事者、家族を招聘した講義（3回）を実施している。
ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	社会福祉領域の実践現場において実践経験を有する実習指導者（社会福祉士）が、ソーシャルワーク実践について指導を行う。また、社会福祉領域の実践現場における実践経験を有する教員が、週1回巡回指導もしくは帰校日指導を行う。
ソーシャルワーク実習Ⅱ	4	社会福祉領域の現場における支援の実践について、実際の現場に出向いて実習計画に基づいて学習する。その際、現に実践をしている実習指導者が学生の指導に当たり、併せて実務経験を有する教員が巡回指導を担当する。
ソーシャルワーク実習Ⅲ	4	精神保健医療福祉領域の実践現場（精神科医療機関）において、実務経験（PSW）を有する実習指導者の指導のもとで実習を行う。
ソーシャルワーク実習Ⅳ	1	地域の障害福祉サービス事業を行う施設等の実践現場において、実務経験（PSW）を有する実習指導者の指導のもとで実習を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	社会福祉領域の実践現場における実践経験を有する教員が講義を担当。加えて、現場で活躍する社会福祉士を講師として適宜招聘する。実践現場における社会福祉士の役割やソーシャルワーク実践についての講義やグループディスカッション等により授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	社会福祉領域の実践現場における実践経験を有する教員が、実践現場における社会福祉士の役割やソーシャルワーク実践についての講義やグループディスカッション等により授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	社会福祉領域の現場における実践経験を有する教員が授業を担当。加えて、現場で活躍する社会福祉士を講師として適宜招聘する。実践現場における社会福祉士の役割やソーシャルワーク実践についての演習やグループディスカッション等により授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	1	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が担当。実践現場（精神科医療機関）の見学実習を計画し、その際に現場の精神保健福祉士による業務および役割等に関する説明（講義）を実施する。
ソーシャルワーク実習指導Ⅴ	1	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が担当。実践現場（障害福祉サービス事業所）の見学実習を計画し、その際に現場の精神保健福祉士による業務および役割等に関する説明（講義）を実施する。

科目名	単位数	授業内容
ソーシャルワーク実習指導Ⅵ	1	精神保健福祉領域の実践現場における実務経験（PSW）を有する教員が担当。実践現場（障害福祉サービス事業所）の見学実習を計画し、その際に現場の精神保健福祉士による業務および役割等に関する説明（講義）を実施する。
カウンセリング	2	臨床心理士として、現在もカウンセリングに携わる教員が、学生の福祉職に於けるカウンセリングマインドの修得を目標に、学校臨床の視点も加味しながら、カウンセリングの理論とスキルについてロールプレイの実践を取り入れた講義を行う。
ヒューマンケアチームアプローチ演習	2	社会福祉・看護・栄養における各分野で実務経験を有する複数の教員が、チームで行うケアプラン作成の演習指導を行う。
介護技術	2	介護福祉士養成施設や社会福祉法人に勤務経験のある講師が、教育現場の経験と介護現場の経験を交えて講義を展開する。
障害者の生理・病理Ⅰ（知的障害）	1	理学療法士として、障害児の発達支援に係る実務経験を有する講師が、知的障害のある児童・生徒の生理・病理をアセスメントした教育実践のあり方について講義を行う。
障害者の生理・病理Ⅱ（肢体不自由）	1	理学療法士として、障害児の発達支援に係る実務経験を有する講師が、肢体不自由のある児童・生徒の生理・病理をアセスメントした教育実践のあり方について講義を行う。